

中標津町郷土館だより

日付 平成13年10月30日

発行所 中標津町教育委員会

標津郡中標津町丸山2丁目22番地

電話 教育委員会(01537-3-3111)

郷土館(01537-2-2190)

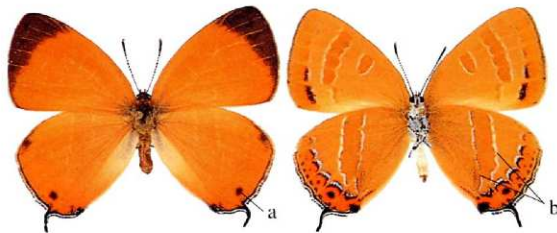
2001年特別号Ⅱ

今年もチョウ類の新規確認種が増えました!!

2000（平成12）年、オオモンシロチョウ、オオイチモンジ、イチモンジセセリという3種の新規確認種があり、これまで83種類だった確認種が86種類になったことお知らせしましたが、なんと今年も3種の新規確認がありました！。これで町内で見ることのできるチョウは89種類になりました。

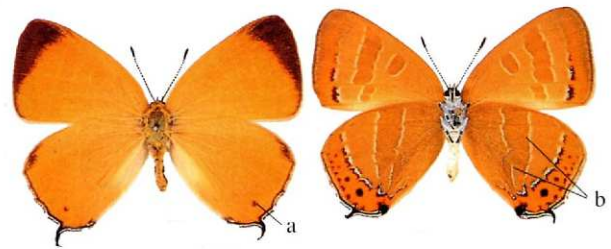
①和名[キタアカシジミ] 学名[*Japonica onoi onoi* Murayama]

- ・ 近年アカシジミから分けられた種。とてもよく似ているので目視だけでの判別は難しい。
- ・ “アカ”シジミと名前がつきますが、オレンジ・茜色をしています。
- ・ ほとんど差のないものもいるので、オスの交尾器を調べることもあります。
- ・ 確認場所：当幌地区のカシワ林



↑ アカシジミ

- ※ 後翅表面の黒点aが大きい
- ※ 裏面は濃い橙赤色でbの銀白条線は輝きが強い



↑ **キタアカシジミ**

- ※ 後翅表面の黒点aが小さい
- ※ 裏面は淡い橙赤色でbの銀白条線は輝きがこぼい

②和名[ハヤシミドリシジミ] 学名[*Favonius ultramarinus* Fixsen]

- ・ 林（はやし）に生息しているからではなく、発見した研究者の名前がつけられています
- ・ エゾミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミとよく似ていますので目視だけでの判別は難しい。
- ・ 確認場所：俵橋地区のカシワ・ミズナラ林、武佐岳他

ハヤシドリシジミ ↓



オスの表面



オスの裏面



メスの表面

※ オスは、上の羽にある外側の黒い帯は細く、下の羽の黒い帯はより幅広い。色は青緑色に輝く。

※ メスは、表面上の羽に白斑を持つ。上翅の外縁は丸みを持つ、

※ (オス・メスとも)

- ① 上の羽裏面の白い帯は幅広くその内側の暗色の帯は目立たない
- ② シッポのような尾状突起はエゾドリシジミよりも長い
- ③ 裏面は灰色
- ④ 裏面の橙色は連結するが黒線はその中に進入しない

～ ハヤシドリシジミとよく似たチョウ ～

ジョウザンドリシジミ ↓



エゾドリシジミ ↓



③和名[ミスジチョウ] 学名[*Neptis philyra excellens Butler*]

- ・ 羽を開くと3本のスジがあるように見えるのでついた名前
- ・ 確認場所：中標津町と清里町の町境付近



中標津町のチョウ

アゲハチョウ科

- 01.ウスバシロチョウ
- 02.ヒメウスバシロチョウ
- 03.キアゲハ
- 04.ナミアゲハ
- 05.カラスアゲハ
- 06.ミヤマカラスアゲハ

シロチョウ科

- 07.エゾシロチョウ
- 08.モンシロチョウ
- 09.エゾスジグロシロチョウ
- 10.スジグロシロチョウ
- 11.ツマキチョウ
- 12.エゾヒメシロチョウ
- 13.モンキチョウ
- 14.オオモンシロチョウ

シジミチョウ科

- 15.ウラゴマダラシジミ
- 16.ウラキンシジミ
- 17.ムモンアカシジミ
- 18.アカシジミ
- 19.キタアカシジミ
- 20.オナガシジミ
- 21.ウスイロオナガシジミ
- 22.ダイセンシジミ
- 23.ミドリシジミ
- 24.メスアカミドリシジミ
- 25.アイノミドリシジミ
- 26.ウラジロミドリシジミ
- 27.オオミドリシジミ
- 28.ハヤシミドリシジミ
- 29.エゾミドリシジミ
- 30.ジョウザンミドリシジミ
- 31.トラフシジミ
- 32.カラスシジミ
- 33.エゾリンゴシジミ
- 34.コツバメ

- 35.ベニシジミ
- 36.カバイロシジミ
- 37.ゴマシジミ
- 38.ルリシジミ
- 39.スギタニルリシジミ
- 40.ツバメシジミ
- 41.ヒメシジミ
- 42.アサマシジミ
- 43.カラフトルリシジミ

タテハチョウ科

- 44.ヒメカラフトヒョウモン
- 45.カラフトヒョウモン
- 46.ナミヒョウモン
- 47.コヒョウモン
- 48.ウラギンスジヒョウモン
- 49.オオウラギンスジヒョウモン
- 50.ミドリヒョウモン
- 51.クモガタヒョウモン
- 52.メスグロヒョウモン
- 53.ウラギンヒョウモン
- 54.ギンボシヒョウモン
- 55.オオイチモンジ
- 56.イチモンジチョウ
- 57.コムスジ
- 58.ミスジチョウ
- 59.フタスジチョウ
- 60.サカハチチョウ
- 61.アカマダラ
- 62.シータテハ
- 63.エルタテハ
- 64.ルリタテハ
- 65.キベリタテハ
- 66.クジャクチョウ
- 67.コヒオドシ
- 68.ヒメアカタテハ
- 69.アカタテハ
- 70.コムラサキ

ジャノメチョウ科

- 71.ヒメウラナミジャノメ
- 72.ベニヒカゲ
- 73.ジャノメチョウ
- 74.ウラジャノメ
- 75.ヒメキマダラヒカゲ
- 76.クロヒカゲ
- 77.オオヒカゲ
- 78.ヤマキマダラヒカゲ
- 79.サトキマダラヒカゲ
- 80.シロオビヒメヒカゲ

セセリチョウ科

- 81.チャマダラセセリ
- 82.ミヤマセセリ
- 83.キバネセセリ
- 84.イチモンジセセリ
- 85.ギンイチモンジセセリ
- 86.カラフトタカネキマダラセセリ
- 87.コキマダラセセリ
- 88.コチャバネセセリ
- 89.オオチャバネセセリ

※ 2001年10月1日現在

※ 下に線の引かれているものが今年確認されたものです



フタスジチョウ (7月・旧浄水場)

※ 写真を使った本
「山溪フィールドブックス⑩ 蝶」
(1995年)です

なかしべつの秘境！！ 武佐地区のクテクンベツ林道奥にあるクテクンの滝と、そのさらに上にある 11 ヶの滝を紹介します。



第 10 の滝 (第 9 の滝から 41m)



第 9 の滝 (第 8 の滝から 7m)



第 11 の滝 (第 10 の滝から 25m)
(※クテクンの滝から 471m)



第 8 の滝 (第 7 の滝から 63m)



第 7 の滝 (第 5・6 の滝から 48m)



第 4 の滝 (第 3 の滝から 37m)



第 5・6 の滝 (第 4 の滝から 25m)



第 3 の滝 (第 2 の滝から 25m)



第 2 の滝左側 (約 25m の滑滝)



第 2 の滝 (第 1 の滝から 120m)



第 1 の滝 (クテクンの滝から 80m)



クテクンの滝 (※駐車場から 1,023m)
何度も川を渡り、約 1 時間かかります。

